

【授業改善推進プラン、6年国語】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分からすすんで読書に励んでいる児童がいる。 ○インタビューや感想交流などの活動では、自分と相手の考えを比べながら、意欲的に取り組むことができる。 ○問題や指示を正しく理解できず、適切に答えられないことがある。 ○論理的で具体的な文章を書くことが苦手である。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○どの児童もすすんで読書に取り組めるようにする。 ○語彙を習得するとともに、文章を正しく読み取る力を高める。 ○構成を考えながら、自分の考えを具体的に文章で表現できるようにする。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○本について紹介し合ったり、学習と関連させて学級文庫を整えたりして、読書のきっかけ作りをする。 ○司書や図書ボランティアと連携し、読書環境を整える。 ○新しく習得する言葉について、辞書で調べさせたり実際に文章を書いて使わせたりする。 ○目的意識○相手意識を明確にして書く活動を行う。 ○良い文章を読んだり試写したりすることで、文章の構成や表現を習得する。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「だれが」「何を」「どうした」に線を引きながら、文章を読む。 ○指示語の示す内容について問い、確認する。

【授業改善推進プラン、6年社会】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○学習に対する意欲は高い。○文章を読み解く力が低いため、教科書の文章やテストの問題文を読んでも理解できない児童が一定数いる。○資料から事実を見付けることはできる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○めあてに即した学習活動の展開が必要である。○授業の中で自分の考えを持ってないままになっている児童がいる。○見つけた事実から、考えられることをまとめる学習が必要である。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○めあてに即した、学習活動の展開。○毎時間のふりかえりの徹底。○調べた事実から自らの考えを生み出すような指導。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○調べた事実について、どんな内容が書いてあるのか確認する。○資料に書いてあることを、文章化、もしくは言語化させる。

【授業改善推進プラン、6年算数】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組む姿勢に個人差が見られる。 ○自分の考えを説明する力がやや不足している。また、説明に苦手意識をもっている子どもが少なからずいる。 ○基礎・基本的な知識や技能がよく定着している子どもとそうではない子どもに分かれる傾向がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○導入場面の工夫などを通して、意欲を高める指導を更に追及する必要がある。 ○少人数指導において、個人差にあわせた指導を追究していく必要がある。 ○既習事項を活用し課題を解決する力を伸ばす工夫が不十分である。 ○子どもが問題の解き方を説明できるようにする手立てが不足している。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○少人数指導におけるグループ編制も含め、より子どもの実態に即した授業を行う。また、単元末に課題選択別学習を取り入れ、個に合わせた授業を行う。 ○授業の初めの問題を工夫し、子どもの意欲を高める。 ○文章題の内容を図や絵、数直線などに表し、立式につなげるように指導する ○問題解決において、既習事項をどのように活用すればよいか見通しをもたせる。 ○問題が解決できず困っている子どもに対して適宜小集団指導を行う。 ○解決方法のかき方、発表の仕方など良いものを積極的に取り上げ誉め認めることにより、よきモデルを全体に広げる。 ○振り返りを通して、「何がわかったか。苦手なことは何か」つかませることにより、各自のもっている力を的確に把握させる。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文章題指導において、「わかっていること」「聞かれていること」に線を引かせ全体で確認し、文章題の内容を確実に理解させる。また、必要に応じ数直線や線分図、絵などを利用し、文章題理解の一助とする。 ○問題を一人一人が考えた後、解決法を書いたノートを子ども同士で読み合う時間を設け、他の子どもが考えた解決法を読み取る力を伸ばす。 ○問題の解き方を発表する際、初めに子どもの解き方を黒板に記す。それを発表させる前にどのように解決したのか考える時間を設け、読み解く力を伸ばす。 ○「～だから、～です。」のように、習ったことを根拠にして新しい知識を獲得するよう指導する。

【授業改善推進プラン、6年理科】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習意欲が高い。実験の様子や実験方法を自身の言葉でまとめることができる。 ○実験器具を正しく扱うことができる児童が増えてきている。 ○実験結果を正しく記録することはできるが、その結果をもとに考察することができず、結果だけしかノートに書くことができない児童が多い。 ○植物や動物のからだのつくりの学習など知識の定着が必要な学習において、知識を定着できている児童とできていない児童とで差が出ている。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実験用の植物などの準備ができなかったり、天候の関係で実験を実施できず、映像資料による授業になってしまったりすることがある。 ○事前実験では正しい数値が出たが、実際の実験結果では、器具の関係で、数値にばらつきが出てしまったこともあり、事前の準備が不十分であった時があった。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○事前実験や実験準備をより大切にする。事前の準備の中で、器具の不備などは決して見落とさないようにする。また、事前実験の中で、実際の実験で起こりうる危険や間違いやすいところをできるだけ見つけ、対処できるようにする。 ○知識の定着を目指す学習では、映像資料をより有効的に活用し、視覚による知識の定着をねらっていく。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実験結果を自分たちでまとめさせる。正しい結果、結果から考えられることをそれぞれ自分の言葉でまとめられるようになる。 ○実験内容と実験結果がリンクするように指示語が何を指しているのか把握できるようにする。（その実験結果→その実験の「その」は、何を指すのか明確にするなど。）

【授業改善推進プラン、6年音楽】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○学習に対する意欲は高く、授業規律も守れている。○お互いを認め合う雰囲気があり、安心して表現活動ができている。○技能を生かしたり、友だちと教えあったりしながら学んでいる。○自分の考えや、友だちの意見を取り入れながら、主体的・協働的に学んでいる。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○安心して表現できる環境を保ちながら、緊張感をもって取り組む学習についての言葉掛けや指導技術。○学習の技能の定着に遅れがある児童に対しての補習にかかる時間が十分ではない。○表現活動に一部制約があるため、学習内容に偏りがあり、様々な学習の体験が十分ではない。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○授業のながれで、切り替えポイントを教師が示し、具体的に理解しやすくする。○授業内で習得できない技能は、補助プリントや休み時間を利用して補習を行う。○新校舎に移り、屋上などの野外を利用したり、フェイスシールドを使用したりして、飛沫防止対策を工夫し。歌唱やリコーダー、金管楽器などを使用した表現活動を実施する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○音楽の音色や音の重なりなどの聴き取ったことや、よさや面白さ、美しさなどの感じ取ったことを言語化すると共に、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを考え、リード分やポイントになる言葉を参考ししながらイメージを文章にする力を育てていく。

【授業改善推進プラン、6年図工】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○最高学年としての意識を持ち、しっかりと集中して学習している。○作品の完成までにかかる時間に差がある。○今までの学習の積み重ねができています。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○絵では、色彩の表現の指導方法に課題が残る。○工作では、細かい仕上げの指導に課題が残る。○安全に楽しく学習できる環境をつくる。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○絵では、重ね塗り、混色の指導を重点とする。○工作では、基本的な等具、用具と使い方を徹底的に指導する。○安全に学習するために、道具の配置、置き方、手入れ等を配慮する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○一人一人の子どもが間違いや失敗を恐れずに、形・色・大きさ、材料の感じ、表現方法など活動や感覚を通して思ったことを表現し、自信をもたせるようにする。○作品の完成後には自分の作品の紹介、友達の作品について感想などを発表し合う時間を設け、自他の作品の良さや違いを認め合うなど共通理解させる。

【授業改善推進プラン、6年家庭科】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○調理や裁縫など、興味関心をもって取り組んでいる。○調理・裁縫の技能の個人差が大きい。○「どうすればより良く行えるか。」「今回の取り組みを今後どう生かすか。」といったことを考える力を高める必要がある。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○教員1人では、個人の技能に応じた指導が難しい。○授業での学びに終わらず、実生活での実践を促し、力を高めていく必要がある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○保護者ボランティアの協力により、個人のみまづきを支援する。 児童同士の学び合いを積極的に行わせ、技能を高められるようにする。 イラストや実演、ICTによる動画等を活用し、視覚的な支援を充実させる。○児童の創意工夫を紹介し、そういった視点をもてるようにする。 自主学習や学級便りで家庭での実践をすすめていく。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○教科書を使って学習する際に、文章と写真を対応させながら、文章の内容を理解できるようにする。

【授業改善推進プラン、6年体育】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に対しての意欲は高い。 ○友達の良い動きや、プレーに気づくことができている。 ○チームでスポーツを行う際に、協力して準備や、片付けを行うことができる。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○実施できる運動が限られてしまい、十分な運動量を確保できていない。 ○場所の関係や新型コロナウイルスの関係で外で行う運動や水泳の学習が一切できていない。 ○授業時数との関係で、単元で押さえない運動技能などを十分に押さえることができず、次の単元に行ってしまう。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○今後も、できる活動は限られてしまうことを踏まえ、指導の効率化や、指導ポイントをしっかりと押さえて指導をしていく。 ○ワークシートなどを活用し、授業のめあてやねらいを明確にしておき、児童がめあてをもって学習できるようにする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○図や動きを言語化して友達に伝えることもできる活動を積極的に取り入れる。 ○保健の教科書を読み解く際に、内容を正しく理解できるよう指導に当たる。

【授業改善推進プラン、6年総合的な学習の時間】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○調べたりまとめたりする活動に意欲的に取り組むことができる。○課題設定や設定理由が不明確なことがある。○情報を集め・調べ・まとめる方法の種類が乏しい。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○子ども一人一人が、課題を明確に設定するための導入の工夫が乏しい。○情報を集め・調べ・まとめる方法を充実させる必要がある。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○子どもたちが興味関心を抱くように工夫して情報提供をしたり、問題場面の共有を丁寧に行ったりする。○集め・調べる方法の、人的・物的な環境を整える。 まとめる方法の選択肢を広げられるよう、今までの学習や日常生活を想起させる機会を設定する。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○文章に書いてある内容を図や表等で表現させる。○図や表等から分かることを、言葉や文で説明させる。○集め調べた情報の、知らない言葉について辞書で調べさせる。

【授業改善推進プラン、6年外国語活動】

<p>児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームや友達同士のインタビューなど、すすんでコミュニケーションをとっている。 ○数や曜日、物の名前など、英語表現の習得に大きな個人差がある。 ○基本的な文章のきまりの習得について、大きな個人差がある。
<p>指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語表現が乏しい児童は、英語に対する苦手意識をもちやすく、発音する事やコミュニケーションに消極的になりやすい。
<p>授業改善に向けての具体的方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○月や曜日の英語カードを掲示する教室環境の工夫を、今後も継続する。 ○ビンゴやカードを用いたカードを掲示する教室環境の工夫を、今後とも継続する。 ○文法の正誤を確かめる活動を取り入れ、文法のきまりについて慣れ親しむことができるようにする。 ○書く活動を取り入れながら、学びのあしあとを付け、児童が振り返ったり繰り返し練習したりできるようにする。
<p>読み解く力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○英語表現と日本語での説明を結びつけられるようにする。

【授業改善推進プラン、6年特別の教科 道徳】

児童の状況	<ul style="list-style-type: none">○自分の考えを書いたり、友達の考えに共感したりすることができる。○授業で高めた気持ちを、実生活でも意識したり実行にうつしたりすることが乏しい。
指導についての課題	<ul style="list-style-type: none">○授業で学んだことを、実生活に生かす手立てや機会の設定が不十分である。
授業改善に向けての具体的方策	<ul style="list-style-type: none">○年間計画を基にしながら、他教科や学校行事、生活指導などと関連させて計画的に学習の時期や事後の活動を設定することで、授業で学んだことを実生活でも生かせるようにする。
読み解く力の育成	<ul style="list-style-type: none">○文章中の「誰が」「何を」「どうした」を確認させる。○類似語を集めたり、必要に応じて意味の違いを確かめたりさせる。 例：やさしさ、思いやり、親切、